

議会だより しすい

No.197

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11

ホームページは「酒々井町議会」で検索してご覧ください ☎043-496-1171

令和2(2020)年11月1日発行

大健闘! しすいっ子!



酒々井中学校陸上競技部の生徒が10月18日(日)に日産スタジアムで開催されたJOCジュニアオリンピックカップ全国中学生陸上競技大会2020の女子4×100mリレー・女子100mハードル・女子砲丸投げに出場しました。結果は、100mハードル4位、砲丸投げ5位と輝かしい成績を収めました。



9月
定例会

令和元年度決算及び議案審議等 P2~P10

委員会・本会議での審議結果 P11~P12

一般
質問

議員12名が町政を問う P13~P19

7月
臨時会

児童・生徒1人1台のパソコン予算成立 . . P20~P21

教育施設も 充実

9月定例会の概要

9月定例会は、9月2日から10月2日までの31日間の会期で開催され、町長から議案13件、報告2件、請願2件及び議員提案の発議案5件が提案され、それぞれ審議を行いました。審議の結果、議案等はいずれも原案のとおり可決しました。

また、町長から「特別定額給付金の支給実績」や「第6次町総合計画等の策定について」など、7件の行政報告が行われました。

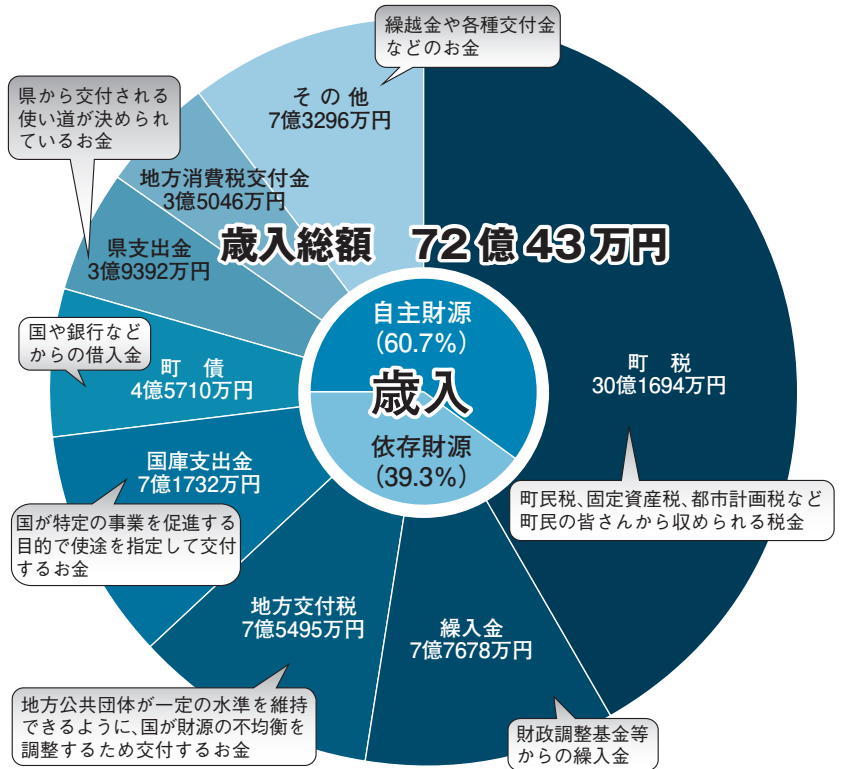
なお、各会計の決算については、議員6名による「決算審査特別委員会」を設置し、集中的に審議しました。

一般質問は12名の議員が2日間にわたり行い、新型コロナウイルス対策や地域振興、防災対策など町政全般について質問しました。

<歳入の概要>

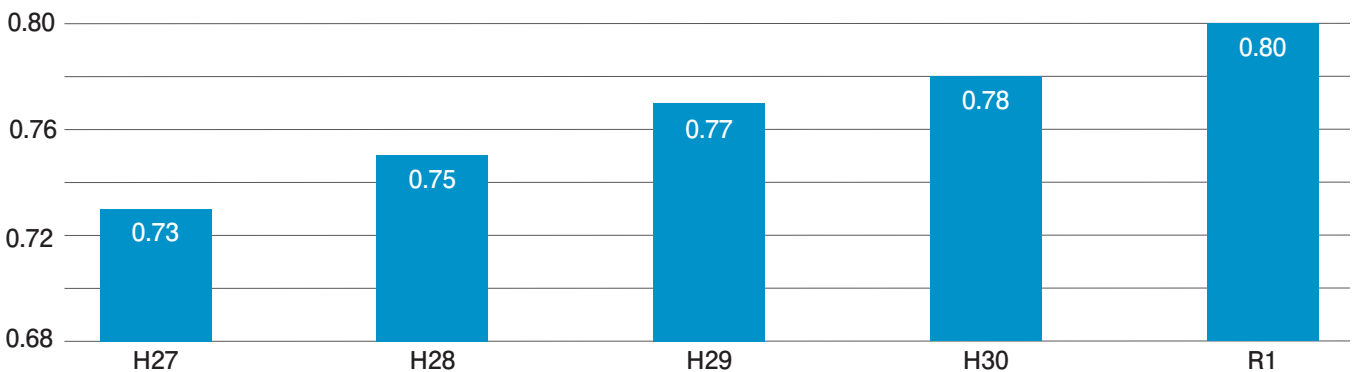
町 税は、法人町民税、個人町民税などの減少により、前年度比1533万円の減額、地方交付税は、町税の増加（前年度）による普通地方交付税の減少などにより、前年度比2557万円の減額、寄付金は、一般寄付金及びふるさと納税の減少により、前年度比103万円の減額、町債は、子ども・子育て支援事業債などの借入減少により、前年度比3630万円の減額となっています。

また、自主財源比率は、町税が減額となっているものの繰入金や繰越金の増加により、前年度比1億9543万円の増額となり、歳入構成比の60・7%となっています。



※千円単位は四捨五入しています。

<財政力指数の推移>



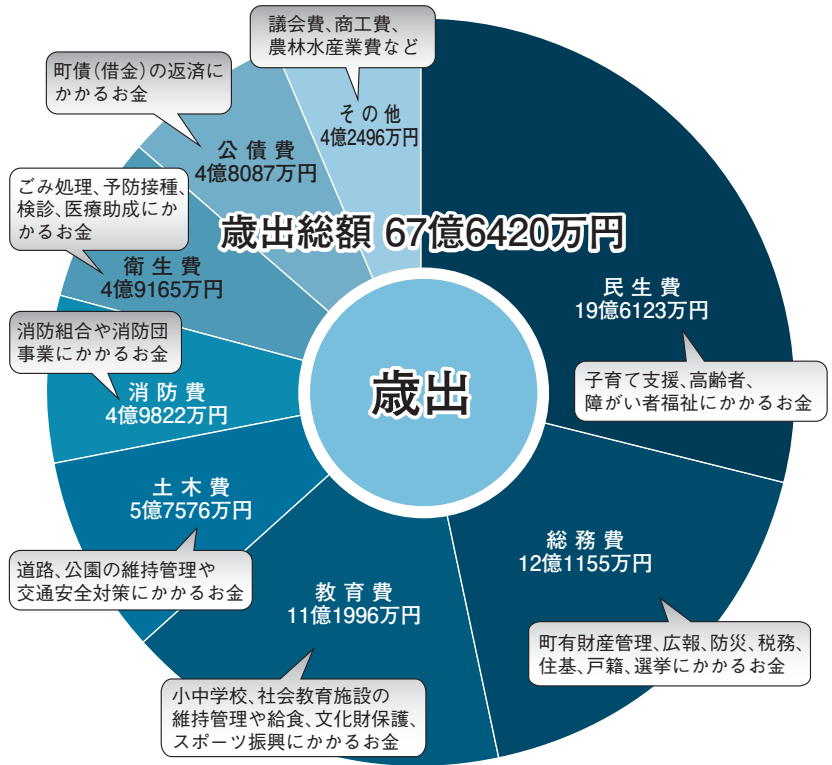
※財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す数値で過去3年度の平均値です。数値が1に近いほど普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があると言われています。

財政力指数が 向上し

一方で義務的経費は増加

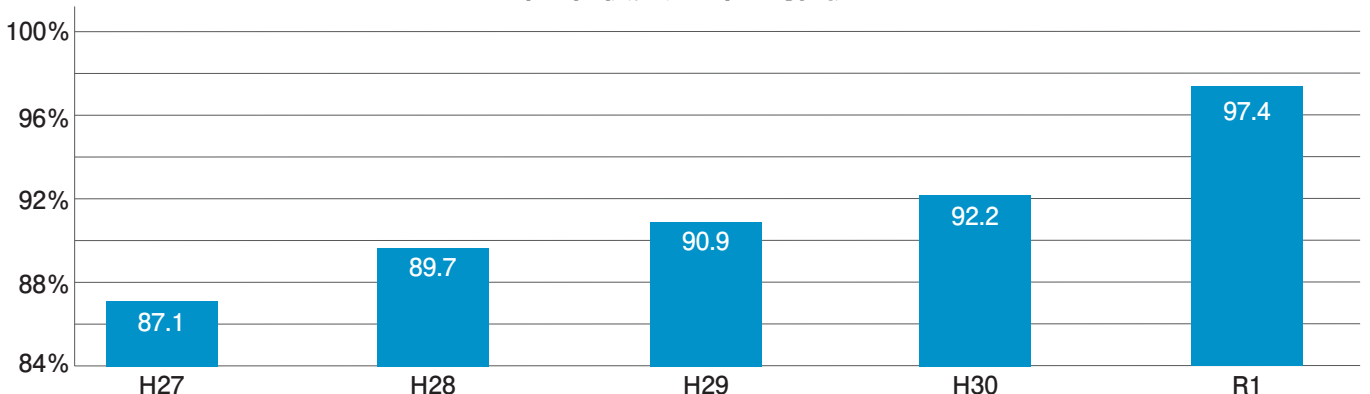
<歳出の概要>

総務費は、退職手当組合負担金、都市計画事業基金への積立金などの増加により、2億5225万円の増額、**民生費**は、社会福祉施設等整備費補助金の増加などにより、前年度比6098万円の増額、**商工費**は、まるごとしすい整備事業の減少などにより、前年度比1319万円の減額、**土木費**は、社会資本整備総合交付金事業を活用した交通安全施設整備などの増加により、前年度比5382万円の増額、**教育費**は、プリミール増築事業、大室台小学校グラウンド改修工事などの増加により、前年度比1億2424万円の増額、**公債費**は、前年度比1925万円の増額となっています。



※千円単位は四捨五入しています。

<経常収支比率の推移>



※経常収支比率とは、財政構造の弾力性を判断する数値で、人件費、扶助費、公債費の義務的性格の経常経費が町税、普通交付税などの経常的一般財源に占める割合です。数値が低いほどいろいろな事業に使えるお金に余裕があると言えます。

令和元年度決算に関する討論

私は賛成です

町の財政状況については、全体的に昨年に引き続き大変厳しい状況であった。町は、国や地方財政の動向等を考慮しながら情報収集を積極的に行うなど、事務事業の見直しをし経常経費の削減に取り組みつつ、事業の投資効果及び緊急性

厳しい財政状況において事業の投資効果、緊急性に十分配慮している

越川 廣司 議員

に配慮し、財源の重点的効果的配分に努めた。また、総合計画等を考慮しながら酒々井町総合戦略に基づき人口減少対策等へ積極的に取り組んだ町長並びに職員が苦勞した財政運営の痕跡が随所に現れている。そして、町全体の経営健全化判断比率についても適正な比率が示されていることから賛成する。

私は反対です

税金の無駄使いには同意できない

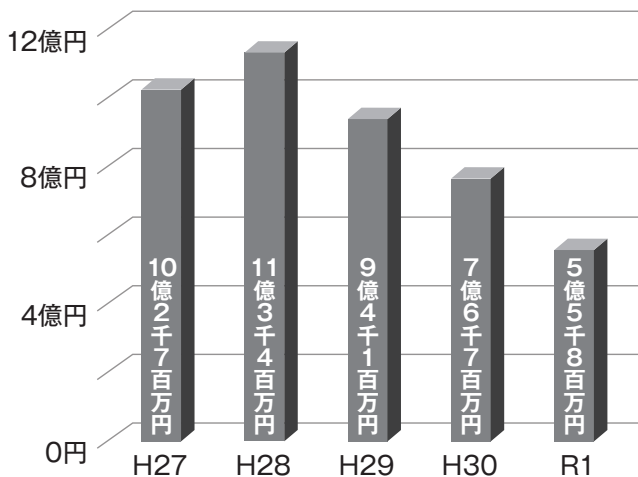
竹尾 忠雄 議員

町民の暮らしは消費税増税や台風災害で疲弊している。

町民負担の都市計画税は年間1億1千万円、そのうち半分が基金に積み立てられ、基金残高は1億5千万円見込まれている。基金に積み立てではなく、町民の暮らし応援のために一旦徴収を止めるべきである。町の自主財源である固定

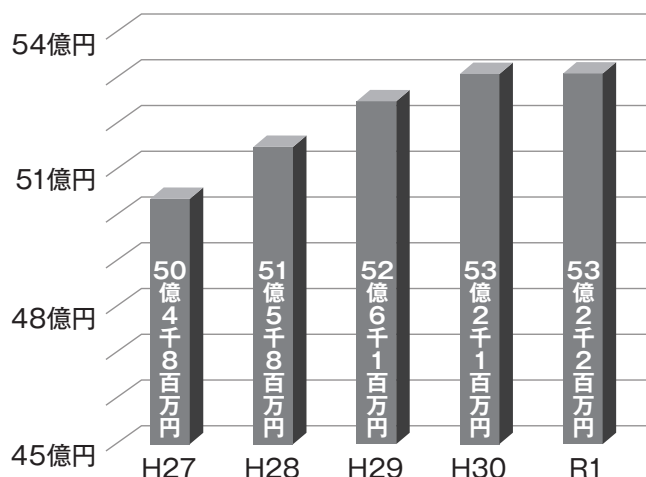
資産税は484万円減収となった。町が土地を購入したり、寄付を受けたりしたことが減収の原因の一つと町も認めている。町民からも指摘されている活用していない「ちびっこ天国」「町民体育館」の維持管理費に900万円使われている。いつまでも税金を使い続けることに町民の理解は得られない。解体し、跡地利用を検討すべきではないか。以上の理由により、決算認定に反対する。

<財政調整基金（貯金）の推移>



※財政の不足を調整したり、急激な税の落ち込みや災害などに備えるための積立金です。また、財政調整基金以外にも使用目的の決まった基金があります。

<町債（借金）残高の推移>



※町が学校や道路等の整備のために国や金融機関等から長期的に借り入れた資金の残高です。令和元年度の町債のうち臨時財政対策債分が36億6600万円を占めています。

決算審査特別委員会での意見・要望事項

〔一般会計〕

- 土地の寄附を受ける際においては、町として当該土地の必要性や利用目的を十分検討するとともに、地権者による境界の確認を行った上で寄附を受けるようされたい。
- 防犯ボックス設置・運営事業補助金について、補助対象期間終了後も継続されるよう引き続き県に要望されたい。
- 紙おむつ支給事業について、支給対象を拡大し制度の充実を図られたい。
- 緊急通報装置貸与事業については、日中に独居状態である高齢者も対象とされたい。
- 酒々井小学校プールは長期に使用されていないことから、跡地利用を検討されたい。
- 建物の長寿命化を踏まえ給食センターの改修・改築を今後検討されたい。
- 町体育館は現在使用されず老朽化し倒壊の恐れもあるため、今後の利用方針を早急に定められたい。
- 財源の確保に努めつつ、町内文化財の保存・整備に一層努力されたい。
- 生涯生活センター運営協議会を開催し利用者の意見を聞き、使いやすい施設となるように努められるとともに、味だより施設の再利用についても検討されたい。
- ちびっこ天国について、今後の利用方針を早急に定められたい。
- J A跡地については、当初目的である誘客のための産業振興策に合った活用を早期に進められたい。
- リニューアルされたJ R酒々井駅駐輪場は、駐車可能台数を超えた利用希望があることから施設の拡充等について検討されたい。

<決算審査特別委員会>

委員長 金塚 学 副委員長 小早稲美穂
委員 白井 則邦 酒瀬川芳子 竹尾 忠雄 地福美枝子

◆議案第4号 令和元年度各種会計決算額◆

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療	議決結果
歳入総額	72億43万3千円	38億604万円	22億3530万8千円	12億9434万8千円	2億7638万4千円	原案認定 (賛成12人 反対3人)
歳出総額	67億6420万3千円	37億7182万7千円	22億1439万6千円	12億8210万円	2億7533万1千円	

◆議案第5号 令和元年度水道事業会計決算額◆

収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
5億3626万2千円	3億9115万9千円	1億9830万9千円	6億8815万9千円	原案認定 (賛成15人 反対0人)

◆議案第6号 令和元年度下水道事業会計決算額◆

収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
3億7558万4千円	4億1680万4千円	1億4355万4千円	2億4065万6千円	原案認定 (賛成15人 反対0人)

新型コロナウイルス感染症対策をさらに強化

高齢者へのPCR検査費用助成 妊婦・生後6か月から中学校3年生までのインフルエンザ予防接種費用助成



町内でPCR検査可能な医療機関（千葉しすい病院・酒々井虎の門クリニック）
— 町は65歳以上の高齢者に一人1回2万円まで助成 —

令和2年9月定例会で上程された議案は次のとおりです。

議案

【議案第1号】

選挙管理委員会関係手数料条例、行政不服審査法施行条例の一部改正

「行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律」が「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律」に改められたことに伴い、引用題名の改称及び条ずれを整備するために改正するもの。
※全員賛成で可決

【議案第2号】

手数料条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により、個人番号の通知カードが廃止され、再交付を行わなくなったことに伴い、再交付手数料に関する規定を削除するために改正するもの。
※全員賛成で可決

【議案第3号】

ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部改正

県ひとり親家庭等医療費等助成事業において、令和2年11月1日から現行の償還払い方式から現物給付方式に変更となることに伴い、町の助成内容を県の

基準に合わせ本条例の一部を改正し、あわせて文言等を整理するもの。
※全員賛成で可決

【議案第4号、5号、6号】

一般会計、各特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の歳入歳出決算認定

※詳細は2ページから5ページをご参照ください。

【議案第7号】

一般会計を増額補正

今回の補正は、令和元年度決算の確定等に伴うもの及び当初予測できなかったものを補正するもの。

歳出の主な内容は、新型コロナウイルス感染症対応経費として65歳以上の方へのPCR検査料の一部補助及び窓口職員・教職員等のPCR検査料、各種施設等の消耗品及び備品や改修工事、公共交通事業者等への支援補助金等の経費をはじめ、各種基金積立金、人事異動に伴う人件費の組換え、除草・街路樹剪

歳出は、ひとり親医療費助成制度の改正に伴うシステム改修費及び国民健康保険事業費納付

【議案第8号】
国民健康保険特別会計を増額補正

<一般会計補正予算額>

補正前	96億8446万7千円
補正額	1億3972万6千円
合計	98億2419万3千円

定業務並びに舗装打ち換え工事等の道路維持経費、デジタル手続法に向けた戸籍附票システム改修費用等の緊急を要する経費等を計上するもの。
歳入では、各事業費の増減に伴う国庫支出金の増額及び県支出金の減額や、額の決定に伴う普通交付税、臨時財政対策債の増額、令和元年度決算に伴う各特別会計からの繰入金及び繰越金を増額するもの。
※全員賛成で可決

金の確定に伴い、増額するもの。
歳入は、令和元年度決算に伴う繰越金を増額するもの。
※全員賛成で可決

<国民健康保険特別会計補正予算額>

補正前	23億6390万1千円
補正額	582万6千円
合計	23億6972万7千円

【議案第9号】
介護保険特別会計を増額補正

歳出は、基金積立金、国・県・支払基金への償還金及び一般会計への繰出金を増額するもの。
歳入は、支払基金交付金、県負担金及び繰越金を増額するもの。
※全員賛成で可決



<介護保険特別会計補正予算額>

補正前	13億4675万9千円
補正額	1863万1千円
合計	13億6539万円

【議案第10号】
後期高齢者医療特別会計を増額補正

歳出は、千葉県後期高齢者医療広域連合への納付金及び一般会計への繰出金を増額するもの。
歳入は、繰越金を増額するもの。
※全員賛成で可決

<後期高齢者医療特別会計補正予算額>

補正前	3億15万5千円
補正額	105万2千円
合計	3億120万7千円

【議案第11号】
水道事業会計を補正

収益的支出、資本的支出のいずれも人事異動に伴う人件費の補正を行うもの
※全員賛成で可決

<水道事業会計補正予算額>

収益的支出	補正前	4億2915万3千円	資本的支出	補正前	3億3584万5千円
	補正額	437万7千円		補正額	△1208万6千円
	合計	4億3353万円		合計	3億2375万9千円

【議案第12号】※追加議案
中学校テニスコート整備工事請負契約の締結

酒々井中学校テニスコート整

<一般会計補正予算額>

補正前	98億2419万3千円
補正額	1007万7千円
合計	98億3427万円

【議案第13号】※追加議案
一般会計を増額補正

今回の補正は、新型コロナウイルス感染症対応経費として、保育等従事者特別奨励金支給事業、妊婦・生後6か月から中学校3年生までを対象とした季節性インフルエンザ予防接種費用助成事業（1人1回2千円まで※13歳未満は2回まで）といった緊急を要する経費の追加をするもの。
※全員賛成で可決

備工事について、一般競争入札を実施した結果、日本体育施設株式会社が落札し、同社と1億1,330万円で仮契約を締結したことから、規定により議会の議決を求めらるもの。
※全員賛成で可決

議案への賛成討論

【議案第7号】

新型コロナウイルスの対応と町民の快適な生活のための予算に賛成

金塚 学 議員

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の更なる支援策として、国の交付金を活用し学校や保育園などの「教職員」や「保育士」、不特定多数の方々と接触機会が多い「窓口職員」などを対象とした「PCR検査実施事業」、町内のベットの多い病院や介護施設での従業者の負担を軽減するための「見守り用介護ロボット導入補助事業」、町内の飲食店等で感染症対策を講じ営業している事業者への「感染症対策遵守ステッカー配布事業」さらに、中学生の修学旅行実現のためのバス車両の確保を行う「学校保健特別対策事業」また、JR酒々井駅東口ロータリーの時計交換工事など新型コロナウイルス感染症に対応

した「新たな日常生活の実践」のための費用及び町民が快適に生活するための事業費に関し追加補正したことを高く評価し、賛成をする。

【議案第7号】

今行わなければならないコロナ対策予算に賛成

地福 美枝子 議員

国からのコロナ関連の交付金を町がどのように使うかは町民にとって大きな関心事である。議案第7号はその交付金の使い方、動き出した工事などの補正となつてきている。この議案には賛成するが、一点のみ苦言を呈する。それは企画費「公共交通事業者緊急支援金」である。JR

・京成にそれぞれ30万計60万円を支援するとなつているが、大手企業に補助金は納得できない。そもそもこれまで、事業者からの申請に対し町は支出しているのに、この件では申請無しで町から支援することに疑問が残る。しかし多くの予算は、今行わなければならないコロナ対策が含まれていることから、7号議案は一言苦言を申し上げ、

賛成とする。

【議案第12号】

コロナの対応だけでなく快適な生活のための予算に賛成

小阜稲美穂 議員

今回の補正予算では、コロナ対策として、貸出用パルスオキシメーター（濃厚接触者や感染者等が在宅待機・療養時に血中酸素濃度を測り病状確認や重症化を予防するための機械）の購入予算やソーシャルディスタンスを確保するため岩橋保育園では園児用テーブルの購入予算が計上された。その他、乳幼児は入院治療などになることがある

ロタウイルスだがワクチンが定期接種化となり予算計上されたこと、JR酒々井駅東口ロータリーの時計が交換工事されることをたいへんうれしく思う。

また、中学校の修学旅行では、新型コロナウイルス感染症に考慮し鉄道からバス利用に変更するなど、中止する自治体がある中で子どもたちの学習の場を確保していただき感謝する。さらに、子どもたちの楽しみにして

いるテニスコートだが、作業される方々の事故などに注意し、完成し学校開放の際は、学校用品を使うことなく、有意義に活用していただきたい。以上、今回の補正予算に賛成する。

【議案第7号・12号】

テニスコートは長年の懸案事項であるから賛成

齊藤 博 議員

酒々井中学校テニスコートの整備は長年の懸案事項であるから賛成する。

ただ、整備が遅れた理由が「国の補助金」が付かないためとしながら、社会人も使えるように付設したナイター照明にかかる費用は2千万円、一方、補助金は3千万円、従って、町負担を1千万円増やせば、早く完了できたはずである。また、野球場、サッカー場の整備もあるが、早期の整備を要望すると同時に、社会人が利用できる規模の整備が必要なのか、財政的な面からの見直しも含め、改めて検討していただきたい。以上意見を申し上げたが賛成する。

報告

【報告第1号】

一般会計予算継続費精算報告書を議会に報告

平成30年度から令和元年度までの継続事業として実施した「地域防災計画等修正事業」が終了したことから、規定により議会へ報告するもの。



【報告第2号】

決算に基づく財政健全化判断比率及び資金不足比率を議会に報告

令和元年度決算に基づく財政健全化判断比率および資金不足比率について、監査委員の意見を付けて議会に報告するもの。内容としては、一般会計と公

請願

営企業会計を含む全会計で赤字額は無く、早期健全化の基準値を大きく下回っていることから、健全段階にあることを報告するもの。

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

【請願第1号】

学校の基幹職員である学校事務職員・学校栄養職員を含め、教職員の給与を義務教育費国庫負担制度から適用除外することは、「義務教育費国庫負担法」第一条に明記されている「教育の機会均等とその水準の維持向上」という目的に反するばかりでなく、財政負担を地方自治体に課し、厳しい地方財政をさらに圧迫するものであり、義務教育の円滑な推進を阻害するおそれもでてくることから、同制度の堅持を国に要望するもの。
※賛成多数で採択



「国における2021年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

【請願第2号】

次の項目を中心に、2021年度にむけての予算拡充を国に求めるもの。

- 1 災害からの教育復興にかかわる予算の拡充を十分にかか
- 2 少人数学級を実現するため公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること
- 3 保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること
- 4 現在の経済状況を鑑み就学援助や奨学金事業にかかわる予算をさらに拡充すること
- 5 子どもたちが地域で活動できる総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること
- 6 老朽化等による危険をとまなう校舎・ブロック塀の改築や、更衣室、洋式トイレ、

- 7 空調設備設置等の公立学校施設整備費を充実すること
- 8 子どもの安全と充実した学習環境を保障するために、基準財政需要額の算定基準を改善し、地方交付税交付金を増額すること

※賛成多数で採択



請願への反対討論

【請願第1号・第2号】

提出団体内の町内機関で議論が確認できないため**反対**

金塚 学 議員

請願第1号・第2号は関連するためまとめて討論を行う。

1号・2号とも請願内容の文言には反対をしないが、請願審査のため、請願提出団体の町内機関である「酒々井町PTA連絡協議会」関係者に確認をしたところ、今回提出の請願の件及び内容について一度も協議会において議論はされていないとのことであった。

請願の目的、趣旨からすると住民の意思を反映し議会として提出するべきものであるのに対し、町内の団体ではまったく議論をされていないものを県の団体が提出するから町議会で認め提出することは間違っていると考える。町内の団体でも議題に上がり議論されたものであれば

認めるが、今回はその確認ができなかったので請願として採択されることに反対をする。

【請願第1号・第2号】

構成する各団体での協議がなされていないため**反対**

小早稲美穂 議員

私は印旛郡PTA連絡協議会本部役員であるが、このような請願内容の話は一度も協議したことがない。提出団体「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会」について構成団体の一つである県PTA連絡協議会役員に問合せをしたところ、協議は行われず存在自体を知らないという回答であった。このような状況であるにもかかわらず請願書が提出されることに疑問を抱く。

構成団体として名前を連ねている各団体がそれぞれ協議を行っているとは考えられないため今回は反対をする。



請願への
賛成討論

【請願第1号・第2号】

県内教育関係団体の集
体による請願であるため
賛成

賛成

川島 邦彦 議員

提出団体である「子供たちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会」の動きについて承知していないという意見があったので、同連絡会へ聞き取り調査を行なった。

同連絡会の設立については、義務教育費国庫負担制度が三位一体改革により国庫負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられ、今後負担割合の縮減が続くと自治体の状況によっては義務教育を歪めることとなってしまふという危機感のもと県内教育関係団体のほぼ全て集合体として設立された。国のみならず県への要望活動や広報誌による活動報告などを行なっており、決していい加減な団体ではなく、請願内容にも問題はない

ことから賛成する。

発議案

【発議案第1号】

町議会会議規則の一部改正

災害や感染症の発生などにより住民生活に重大な影響を及ぼすような状況下において口頭による一般質問に代えて、文書での質問が実施できるように会議規則を改正するもの。
※全員賛成で可決



【発議案第2号】

新型コロナの影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

コロナ禍による地方税・地方交付税等の大幅な減少で地方財政はかつてない厳しい状況下になることが予想されることか

ら、地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくために、地方税・

地方交付税等の一般財源の確保・充実を強く求める意見書を衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣に提出するもの。
※全員賛成で可決

【発議案第3号・4号】

意見書を国に提出するもの

請願第1号、第2号について、賛成多数により採択されたことに伴い、それぞれ意見書を内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣に提出するもの。
※賛成多数で可決

【発議案第5号】

コロナ禍による需要の消滅と在庫増の影響から米価下落の阻止を求める意見書

新型コロナウイルス感染症による需要の消滅により発生して

いる2019年産米の過剰在庫を備蓄米として追加買入れを行うことにより、2020年・2021年主食用米需給環境を改善し、2019年産・2020年産米の価格下落を阻止すること。また、備蓄米を活用し、コロナ禍による生活困難者への生活支援等の仕組みを構築することを要望する意見書を衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣に提出するもの。
※全員賛成で可決

【発議案第3・4号】

反対討論



発議案への
反対討論

【発議案第3・4号】

まずは保護者が検討してから町で検討すべきと考えるため反対

小早稲美穂 議員

内容を反対するものではない。私も5、6年前にこのよう

な内容のものに署名をしたこともある。

県PTAや郡PTA、町PTA連絡協議会、各協議会で話し合いが全くされていない。町でこのような発議をするのであれば、まずは町PTA保護者で話をするべきと考えるため、今回は反対する。

発議案への
賛成討論

【発議案第3・4号】

県の代表者会議が行なわれていることから

賛成

川島 邦彦 議員

提出団体の運営については、県の代表者会議を行っていると聞いている。PTA連絡協議会は県代表者一名となっていることから、代表者から各関係団体へ話がいくようになっていく。



各常任委員会での審査結果

※件名は一部省略しています。

◎…委員長 ○…副委員長

総務常任委員会 ※議会事務局、総務課、企画財政課、税務住民課、委員 ◎地福／○御園生
会計室、選挙管理委員会、監査委員、その他の 江澤／齊藤
事務についての審査を担当 小早稲

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	選挙管理委員会関係手数料条例及び行政不服審査法施行条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第2号	手数料条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第7号	一般会計補正予算（第4号）※委員会担当分野	4	0	原案可決

教育民生常任委員会 ※住民協働課、健康福祉課、委員 ◎川島／○白井
教育委員会、固定資産評価 佐藤／内海
委員会についての審査を担当 金塚／大石

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第3号	ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部改正	5	0	原案可決
議案第7号	一般会計補正予算（第4号）※委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第8号	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	5	0	原案可決
議案第9号	介護保険特別会計補正予算（第1号）	5	0	原案可決
議案第10号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	5	0	原案可決
請願第1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	3	2	採 択
請願第2号	「国における2021年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	3	2	採 択

経済建設常任委員会 ※経済環境課、まちづくり課、委員 ◎須藤／○竹尾
上下水道課、農業委員会に 高崎／越川
ついでにの審査を担当 酒瀬川

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第7号	一般会計補正予算（第4号）※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第11号	水道事業会計補正予算（第1号）	4	0	原案可決

本会議での 議決結果

議案と議決結果（町長提出のもの）

賛成・・・○ 反対・・・× 議長は採決に加わりません。

番号	件名	本会議の採決結果																
		採決結果	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	須藤	御園生	川島	齊藤	内海	佐藤	江澤議長	竹尾	地福	越川	高崎
<条例の一部改正>																		
1	選挙管理委員会関係手数料条例及び行政不服審査法施行条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
2	手数料条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
3	ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
<令和元年度決算認定>																		
4	一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定	可決 (賛12・否3)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	×	×	○
5	水道事業会計決算の認定	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
6	下水道事業会計決算の認定	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
<令和2年度補正予算>																		
7	一般会計補正予算（第4号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
8	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
9	介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
10	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
11	水道事業会計補正予算（第1号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
<工事請負契約の締結>																		
12	工事請負契約の締結（酒々井中学校テニスコート整備工事）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
<令和2年度補正予算>																		
13	一般会計補正予算（第5号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
<請願>																		
1	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択 (賛9・否6)	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×
2	国における2021年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択 (賛9・否6)	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×
<発議案 議員提出の議案>																		
1	議会会議規則の一部改正 (提出者 御園生 浩士 議員 他5名)	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
2	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出 (提出者 御園生 浩士 議員 他5名)	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
3	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出 (提出者 白井 則邦 議員 他3名)	可決 (賛10・否5)	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×
4	国における2021年度教育予算拡充に関する意見書の提出 (提出者 白井 則邦 議員 他3名)	可決 (賛10・否5)	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×
5	コロナ禍による需要の消滅と在庫増の影響から米価下落の阻止を求める意見書の提出 (提出者 須藤 伸次 議員 他4名)	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○

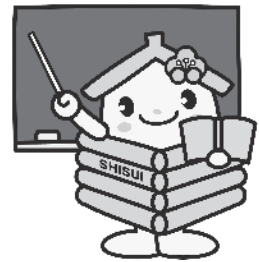
※件名は一部省略しています。

ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、町の執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。
9月定例会の一般質問は、9月10日と11日の2日間で12名の議員が
行財政全般にわたり、今後の対応策などについて質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみ
となっています。詳細については、町図書館（プリミエール酒々井内）で
会議録をご覧ください。また、町のホームページからもご覧いただけます。
9月定例会の会議録は、12月上旬以降、閲覧することができます。



酒々井町マスコットキャラクター
井戸っこ（しすいちゃん）

No.1 大石 法子 議員 P 14

- ◆町民健康の拠点として千葉しすい病院との連携
- ◆災害対策
- ◆G I G Aスクール構想

No.7 内海 和雄 議員 P 17

- ◆県道富里酒々井線の整備促進
- ◆空港場外下水道について

No.2 御園生 浩士 議員 P 14

- ◆新型コロナウイルス感染症対策と対応

No.8 地福 美枝子 議員 P 17

- ◆新型コロナ対策
- ◆学校での対応
- ◆災害対策

No.3 金塚 学 議員 P 15

- ◆防災・減災対策
- ◆町の活性化及び快適な住環境について
- ◆安全・安心で住みよいまちづくりの推進
- ◆河川の管理
- ◆G I G Aスクール構想の実現

No.9 川島 邦彦 議員 P 18

- ◆介護崩壊の回避

No.4 酒瀬川 芳子 議員 P 15

- ◆しすいハート体操の普及
- ◆京成宗吾参道駅のエレベーター設置
- ◆JR南酒々井駅南口の駅前整備
- ◆高齢者外出支援タクシー利用助成券

No.10 白井 則邦 議員 P 18

- ◆会計年度任用職員
- ◆学校の働き方改革
- ◆町特定事業主行動計画
- ◆新型コロナ対策

No.5 須藤 伸次 議員 P 16

- ◆歩道拡幅計画の進捗状況と完成時期
- ◆介護施設の拡充

No.11 竹尾 忠雄 議員 P 19

- ◆町が管理する土地、建物の活用
- ◆ふれ愛タクシー・循環バスについて
- ◆防災移転促進事業
- ◆馬橋地区の過剰盛土崩落について

No.6 齊藤 博 議員 P 16

- ◆財政運営
- ◆町内定時循環運行バスの導入
- ◆ちびっ子天国
- ◆中川の治水対策

No.12 小早稲 美穂 議員 P 19

- ◆防災について

問

町民健康の拠点として、千葉しすい病院との連携は

答

病院と福祉施設が一体となった環境づくりに取り組んでいく



大石 法子議員

問 今後、高齢化が進み数年後には団塊の世代に介護が必要な時代がくるが、当町の受け皿の考えと、町民の健康維持のために健診の助成をしようか。

町長 団塊の世代が75歳を迎える2025年までには、酒々井駅の徒歩圏内である「町総合戦略重点推進エリア」内に、生涯、健康で生きがいのある生活が送れるよう、病院と福祉施設が一体となった環境づくりに取り組んでいく。町では、町外7医療機関に短期人間ドック事業を委託し、満35歳以上の国民健康保険や後期高齢者医療保険の被保険者を対象に、費用の7割を助成している。千葉しすい病院も健診器具が充実している

るので、同病院とも調整が整いしたい。委託契約を締結したい。



千葉しすい病院

災害備蓄品に液体ミルクが追加

問 災害対策について、災害備蓄品に液体ミルクと使い捨て哺乳瓶を加えたのか。また、東京電力とどのような協定を結んだのかを伺う。

総務課長 液体ミルク及び使い捨て哺乳瓶は備蓄量を検討し、購入したところである。協定については、災害時などの大規模停電時に早期の電力復旧や停電の未然防止などに取り組むことを目的としている。

ICT教育の円滑な導入を

問 GIGAスクール構想について、児童・生徒に一人一台のパソコン端末と通信環境整備の予算が組まれたが、活用方法と人的配置の考えを伺う。

学校教育課長 パソコンの活用については、各学校の教職員の工夫による「家庭学習」「日々の授業」の2つの面からの活用を考えている。また、人的配置については、各学校と協議を進めているが、「授業への活用サポート」及び「パソコンに関する技術的なサポート」の2つの側面から教員をサポートできるように考えている。

問

コロナ禍において、保育園等の保護者から要望や意見はあったのか

答

登園自粛要請期間中の保育料等について意見があった



御園生 浩士議員

問 コロナ禍において、保育園・子ども園・学童保育に対して保護者よりどのような要望や意見が寄せられたのか伺う。



園庭で遊ぶ子どもたち

問 当町において、保育園や学童保育については、たくさん補助事業があるが、なぜ幼稚園に対しては補助をしないのか伺う。

こども課長 町内には私立の幼稚園と子ども園がそれぞれ1園ある。子ども園には町からの補助制度があり、幼稚園には千葉県からの補助制度がある。

問 2019年度のパソコンの出荷台数は約73.9万台。2018年度の小学校の児童数・中学校の生徒数・各教師数を合計すると98.5万人でパソコンの絶対数が少ない。国ではコロナ禍で、パソコン購入補助事業が本年度に前倒したが、当町において購入はできるのか。教育用パソコン（本体1700台とその他分）の入札予定について伺う。

こども課長 7月臨時会で補正予算計上した小中学校児童・生徒一人一台端末整備などの購入については、近々入札公告を出せるよう準備を進めている。



1人1台パソコンを整備します

問

災害時での住民への
情報発信の方法は

答

多様な通信メディアを活用すると
ともに、地域による声掛けも重要



金塚 学 議員

問 防災無線がアナログ波からデジタル波へ変更になり「防災ラジオ」が使えなくなると伺っているが、町民への情報ツールはどのような事を考えているのか。

総務課長 防災ラジオは、令和3年2月13日以降受信できなくなるので、

すいメール配信サービスや防災行政無線テレホンサービスを利用してほしい。また、メールなどが利用できない方には自主防災会や地域の方々による声掛け等に配慮していただきたい。

墨入り口交差点の渋滞緩和を

問 「墨入り口」交差点は、県道側には右折レーンの設置が無く渋滞が発生している。町として道路管理者の県と協議しているが問題解決に向けての進捗状況はどうか。

まちづくり課長 昨年度、印旛土木事務所により右折レーン設置のための概略設計が実施されたところであり、現在、事業化に向けた検討を進めていると伺っている。

JR酒々井駅ホーム屋根の延長を

問 JR酒々井駅のホームは屋根が短

く、降雨時に困っているという声がある。屋根の延長についてJRとの協議は行っているのか。

企画財政課長 JR東日本には要望しているが、町民や利用者の利便性向上を図るため、継続して要望していく。

河川の管理について

問 高崎川については、大雨時にたびたび氾濫し被害が出るが、町内での管理はどのようになっているのか。

町長 現在は千葉県印旛農業事務所が管理しているが、町は同事務所と移管に関する協議を行っており、将来的には町が準用河川に指定し、管理していくことを検討している。

GIGAスクール構想の早期実現を

問 GIGAスクール構想による一人一台端末の運用には、ハード・ソフト・人材の3点セットが必要となるが、子どもたちが端末を手にし、学習が始まるのはいつからを想定しているのか。

教育次長 全国で端末整備をしているので、調達に不透明な部分もあるが、早期に使用できるよう工夫をしている。

問

しやすいハート体操の普及を

答

リーフレットやCDなど配布し、
町民の健康づくりに努めていく



酒瀬川 芳子 議員

問 平成14年に策定された酒々井町健康ビジョンで、酒々井町在住の方々による「しやすいハート体操」が完成し、CDもできたが、途絶えてしまった。

健康福祉課長 健康づくりや介護予防推進のため、一人でも気軽にできる、親しみやすい運動として、新たなしやすいハート体操を制作し、しやすいハート体操教室や出前健康講座の際に、リーフレットやCDなどを配布している。引き続き、町民皆様の健康づくりのため、しやすいハート体操の普及に努めていく。

京成宗吾参道駅にエレベーター設置を

問 京成宗吾参道駅のエレベーター設置について、京成電鉄との交渉など、進捗状況を伺う。

副町長 当駅は、成田市の方も相当数が利用されていると推測されることから、成田市との連携により、京成電鉄に対し、連名によるバリアフリー化に対する要望を実施するための事前協議を実施している。また、7月27日には、

京成電鉄と町とのトップ会談を行っており、その中でエレベーター設置などをお願いしてきた。

JR南酒々井駅前の整備を

問 「JR南酒々井駅を中心とした環境整備と活性化に関する意見書」を提出したが、JRとの交渉など進捗状況を伺う。

副町長 南酒々井駅周辺の活性化を図るうえで重要となる跨線人道橋について、JR千葉支社と事前協議したところ、駅前広場や公衆トイレの整備など、跨線人道橋の整備以外にも費用が必要となる条件が提示された。今後、跨線人道橋の形式などの検討業務を発注し、JRと調整していく。

高齢者外出支援策を

問 新型コロナウイルス感染予防としての新しい対応として、「高齢者外出支援タクシー利用助成券」の見直しや補助拡充はできないか。

町長 3密を避けるための「新しい移動」の方策も必要なことから、高齢者外出支援タクシー事業の拡充も含め、総合的に検討していく。

問

県道宗吾酒々井線歩道拡幅工事の進捗状況は

答

八坂神社前から国道296号側の約70メートルを実施する



須藤 伸次議員

遅々として遅れている次の路線の歩道拡幅計画の進捗状況と完成時期について伺う。

問① 県道宗吾酒々井線の「八坂神社前」から「島田邸前」、「酒々井小学校校門前」までの歩道拡幅工事。

まちづくり課長 印旛土木事務所に確認したところ、用地買収の進捗状況は面積ベースで約19パーセント、工事については、八坂神社前から国道296号側の片側約70メートルを今年度中に着手予定であるが、完成時期は未定と伺っている。その他の箇所は、印旛土木事務所に要望をしている。

問② 町道02-009号線の朝日橋(役場近くの国道51号を跨ぐ橋) 橋梁拡幅工事。

まちづくり課長 朝日橋の歩道拡幅工事は5回入札を実施したが、不調に終わった。今後は、橋の幅を現況のまま、可能な限り歩道を広くして、歩行者の安全を確保する工事を検討していく。

問③ 町道02-008号線(役場前からJR酒々井駅方面への道路)の歩道整備

まちづくり課長 今年度から無電柱化事業に着手する。街路樹の伐採を今年と来年で実施したい。

問④ 町道02-009号線(下台から国道296号まで)の歩道工事について再度計画化すべきと思うが、町の考えを伺う。

まちづくり課長 現在の状況で対応可能な交通安全対策について地元の意見を伺いながら検討していきたい。

介護施設の充実を

問 2025年には日本国民の5人に1人が認知症にかかると報道されているが、当町も本年1月1日現在の高齢化率が32パーセントに達している。介護施設の整備を急ぐべきと思うが、町の考えを伺う。

町長 団塊世代が75歳を迎える2025年までには、酒々井駅の徒歩圏内である「町総合戦略重点推進エリア」内に、町民の健康寿命を延ばし、生涯、健康で生きがいのある生活が送れるよう、病院と福祉施設(グループホームと特別養護老人ホーム)が一体となった環境づくりに取り組んでいく。

問

ちびっこ天国はどのように活用するのか

答

プール再開や新たな集客施設など活用を検討する



齊藤 博議員

問 町が放りっぱなしにしている建物が3つある。「旧町体育館」「青少年交流の家」そして「ちびっこ天国」である。更にJA跡地の建物も4番目の建物になるだろうと危惧している。ちびっこ天国の管理棟耐震工事は、平成27年度に1800万円で調査委託したが、耐震工事を実施できない理由は何か。遊泳施設としての再利用はあるのか。今後、ちびっこ天国を廃園しても、その敷地と建物は公有財産のままという前提で良いのか伺う。

経済環境課長 施設の利用方法には様々な可能性があり、プールの再開、新たな集客施設、将来的には高齢者福祉施設、さらには災害時の避難所として活用することを念頭に置き、耐震工事ができるよう進めていきたい。

なお、プールとして使用しない場合は、京成電鉄に返すことになっているが、町の公有財産ともなっているため、関係機関と協議していく必要があると考えている。

中川治水対策について

問 調整池方式、内水対策、集団移転対策等、3つの対策を講じなければ、水害は解消できないのか。3つの対策には、大きな財政負担とともに長い期間を要すると思う。今こそ、比較的不い予算で実施できる排水ポンプの充実、排水路の復旧等、当面の内水対策を実施して万が一の場合でも浸水被害を少なくする必要があると思うが、町の考えを伺う。

まちづくり課長 治水対策に終わりはなく、昨今の異常気象を考慮すると、今後も多様な対応が必要である。事業の実施には国庫補助等を活用するなど、可能な限り町の財源負担を軽減するように努めていく。

上下水道課長 既存の雨水ポンプの能力向上は、設置場所の制約等により難しいと考える。また、京成本線を横断する既設排水管路については、状況を把握し、清掃等による管理の有効性を確認したい。

確認したい。

問

県道富里酒々井線の古沢橋に歩道を設置すべき

答

計画はあるが、整備時期は未定



内海 和雄議員

県道富里酒々井線の整備促進を図る観点から次の点を伺う。

問① 県道富里酒々井線が県道に昇格した理由と年度は。

まちづくり課長 酒々井町、旧八街町、旧富里村の3町村の請願により、昭和59年3月23日付けで県道となった。

問② 整備計画の事業終了はいつか。

まちづくり課長 印旛土木事務所に確認したところ、平成5年度から事業着手しており、事業終了年度は未定とのことである。

問③ 清掃組合が事業費を負担する話があったが、具体化しなかった理由は。

まちづくり課長 地方財政法に抵触するなどの理由により実施できなかった。

問④ 清掃組合が主体で町と県へ要望した年度と結果は。

まちづくり課長 平成11年度に清掃組合と町長の連名で要望書を提出した。

問⑤ 関東地方整備局に陳情した年度と結果は。

まちづくり課長 平成12年度に陳情を行ったが、結果は県事業であるため、答弁は控える。

問⑥ 古沢橋に歩道設置を検討すべきと思うが如何か。

まちづくり課長 歩道設置計画はあるが、整備時期等については未定と聞いている。

場外下水道の活用を

場外下水道を活用すべきとの考えから次の点を伺う。

問① 場外下水道の開始はいつからか。

上下水道課長 成田空港(株)より、昭和49年度からと聞いている。

問② 空港が実際に使用した期間は。

上下水道課長 平成21年度までの35年間である。

問③ 現在の利用状況は。

上下水道課長 一部利用されているが、下流部分は使用停止している。

問④ 千葉県の今後の利用計画は。

上下水道課長 下流部分の利用計画はないと聞いている。

問⑥ 下水道周辺にお住いの方が使用できるよう県に要望すべきと思うが。

上下水道課長 下流部分を流域下水道幹線として存続させるよう要望している。

問

新型コロナウイルス対策の重点施策は

答

行政の取り組みだけでなく、皆さんの行動が感染拡大防止になる



地福 美枝子議員

問 今後の新型コロナウイルス対策の重点施策を伺う。

町長 行政の取り組みだけではこの大きな危機を乗り越えることはできない。町民皆さんの行動が感染拡大を防ぐためにも重要である。三密回避や新しい生活様式での行動をお願いしていく。

問 PCRの検査数・陽性率の情報開示の考えは。

健康福祉課長 印旛市郡医師会では検査数・陽性率は公表していない。

問 大規模PCR検査の考えは。

健康福祉課長 現在の検査体制は、感染リスクの高い、検査が必要な方に受けていただくことになっている。

問 学校・保育園・幼稚園・介護、福祉施設などの従事者へのPCR検査は。

健康福祉課長 状況に応じて検討する。

問 町内の医療機関でPCR検査ができる場所は。

健康福祉課長 千葉しやすい病院と酒々井虎の門クリニックで実施している。

学校での新型コロナ対策について
問① この機会に少人数学級を行うことについて。

学校教育課長 町では、少人数学級ではなく、少人数指導を進めている。

問② 少人数学級実施の課題は。

学校教育課長 町独自の判断で少人数学級を行うことは認められていない。

問③ 休校期間の給食費を無償化して子育て支援をすべきではないか。

学校教育課長 休校中や7月20日から9月1日の間で提供した分は、すべて町負担とした。

災害対策の見直しを

問① 避難所となる学校のトイレをすべて洋式にしては。

こども課長 洋式化率は72・1%で、当面は現状を維持していく。

問② 長期にわたる避難所の運営に関し、職員と町民による運営マニュアルを作成しては。

総務課長 職員及び住民向けにマニュアルを作成した。長期化する場合は住民の自主的な運営に移行したい。

問③ 自然災害等を受けて、防災計画の変更・書き加えることは何か。

総務課長 昨年、防災計画の修正を行ったが、状況により随時修正していく。

問 コロナ禍での介護サービス崩壊を防ぐためには

答 民間事業者間で互助協定を締結している。町も積極的に関与したい



川島 邦彦議員

コロナ禍で介護サービスに対する危機感が弱いと感じることから伺う。

問① PCR検査の補助金を今議会で65歳以上の希望者を対象に予算化するが、介護従事者に適用拡大する考えはないか伺う。

健康福祉課長 介護従事者に対しては、定期的な検査が必要となるので町独自の支援は難しいが、印旛郡市9市町が県知事に「濃厚接触者以外のPCR検査の対象拡大」などを要望したところであり、県の動向を注視したい。

問② 町内の介護事業者間が連携する「社会福祉施設協議会」があるが、運営状況を伺う。また緊急時に即応するため、行政も参加すべきではないか。

健康福祉課長 「社会福祉施設協議会」は東日本大震災を教訓に、行政に頼るだけでなく、自分たちで出来ることは民間事業者で考えるとの観点から、地域福祉の充実を図ることなどを目的に設立された。町内13事業者が加盟しており、意見交換を行う交流会を開催しているが、行政は参加していない。

問③ エコトピア酒々井(特養ホーム)

を福祉避難所に指定している。災害避難時の社会的距離の確保と受入れ人数の関係をどのように捉えて対応を考えているのか、また、町内介護従事者が代替できる施設は存在するか伺う。

健康福祉課長 エコトピア酒々井の受け入れ人数は、間仕切りの設置等を考慮すると8世帯16人となる。代替施設等については、「社会福祉施設協議会」で話し合う必要性があると同っており、避難者の安全安心を確保するためにも、町も話し合いの場に参加していきたい。

問④ 経営体力が弱い介護事業者が町内に点在していると認識する。休業や廃業などで要介護者に支障が発生しないよう行政のフォローを強く要望する。

健康福祉課長 「社会福祉施設協議会」に加盟している13事業者で、互助協定を締結しており、サービスが提供できなくなった場合、相互にサービスを代替えすることが盛り込まれている。しかしながら、運用までに至っていないと伺っているので、町としては積極的に関与して支援していきたい。

問 コロナ禍における教師の負担軽減のための取り組みは

答 小学校に「学習サポーター」を配置し、学習の遅れに対応する



白井 則邦議員

問 新型コロナウイルス感染症の影響で教師の負担が増えているが、教師の負担軽減のための取り組みを伺う。

学校教育課長 教員の負担軽減のため、小学校2校に「学習サポーター」を配置する。主に、国語・算数の個別指導に活用し、臨時休校等の影響による学習の遅れに対応することとしている。

会計年度任用職員について

問 フルタイム会計年度任用職員、パートタイム会計年度任用職員の総数及び男女の内訳を伺う。

総務課長 4月1日現在で、フルタイム会計年度任用職員は21名、パートタイム会計年度任用職員は160名の合計181名で、男性が45名、女性が136名となっている。

酒々井町特定事業主行動計画について

問 女性管理職を増やすために、どのような取り組みをしているのか。

総務課長 管理職候補の対象となる女性職員が研修へ参加している。また、男女問わず6級職の職員を町議会常任委員会での説明員として出席させるなど、管理職としての教育の機会を用意



印旛保健所が入る印旛合同庁舎

し、職員の登用に備えている。

学校教育課長 女性管理職を増やすため、教師としての力量のある女性教諭には教頭候補者選考に志願するよう、繰り返し勧めている。

新型コロナウイルス対策について

問 町内の教育、医療、福祉施設において、陽性患者が発生した場合のPCR検査体制を伺う。

健康福祉課長 各施設で陽性患者が発生した場合は、印旛保健所で対応にあたるが、濃厚接触者に該当しない場合は、ご自分で検査を行うことになる。

学校教育課長 印旛保健所等と協議しながら、校内に設置された対策本部において検査対象者の選定を行い、必要に応じて検査を実施していく。

問

ちびっこ天国休園中の維持管理費
690万円は税金の無駄使い

答

施設を活用するため、利用方法を検討している



竹尾 忠雄議員

町が管理する土地などについて伺う。
問① 酒々井ちびっこ天国開園のため募集は行わないのか。
経済環境課長 施設について様々な利用方法を検討している。
問② 酒々井ちびっこ天国検討委員会から「閉園を検討すべき」との提言を受けた。また、町議会の決算審査特別委員会からも「早急に決断すること」と意見が出されている。これら町民の声を町長はながしろにするのか。休園中（4年間）の管理費は約690万円、税金の無駄使いである。施設を解体し、土地利用を検討すべきと思うが、町長の考えを伺う。

が経過したが、活用の見通しを伺う。
まちづくり課長 町道02・006号線は交付金事業で整備することとなっているが、交付金は要望どおりにつくもではない。また、町内には交付金事業で整備を進めている他の路線もあり、優先順位を勘案した中で当路線は進められない状況にある。
問④ この土地を私どもの判断で取得したと言うが、町長は土地購入を良かったと判断しているのか。
町長 これだけの面積を900万円で購入できた。道路用地で購入したらこの金額では済まない。道路をつくって残った土地は災害時のがれき仮置き場としても利用できる。

ふれ愛タクシーについて

問 ふれ愛タクシーは平成29年度に1台減車したことにより利用者が激減した。4台運行に戻し、移動手段の充実を図るべきと考えるが如何か。
副町長 移動手段の充実を図るため、「高齢者外出支援タクシー事業」や妊婦・乳幼児支援タクシー事業」などを実施している。

問

避難所全体の受入れ人数はどの程度減少するのか。

答

コロナ禍前から約6割減の1075人と考えている



小早稲 美穂議員

問 8月に作成された避難行動マニュアルはホームページで公開しているが、戸別配布はしないのか。また、避難所全体の受入れ人数はコロナ禍前後でどの程度減少したのか。
総務課長 避難行動マニュアルは随時見直すこととしており、内容を修正しなければならぬので、戸別配布は考えていない。コロナ禍前の避難所の収容人数は2612人だったが、今回作成した避難行動マニュアルでは、ソーシャルディスタンスを考慮し、1075人で約6割減となっている。
問② 自治会や自主防災組織について、横のつながりが持てるようにすべきであり、また、各団体が所有する発電機などの物資を困っている地域に貸し出せる仕組みが必要だと考えるが如何か。
総務課長 町には15の自主防災組織がある。その役員や自治会役員を対象とした防災研修会のようなものを開催し、顔合わせができるように検討したい。また、困っている地域へ物資の貸し出しについては、その自治会でも必要となることも考えられるので、「も

しも」に備えていただき、特定の地域で停電が長引くなどの事態が発生した場合は、町において支援をする。
問③ 自治会・自主防災会が所持する防災倉庫の買い替えや補修費用を町から補助できないか。
総務課長 町では防災資機材を購入する場合、50万円を上限に補助金を交付しているが、防災倉庫の購入に対する補助金は行っていない。
問④ 新型コロナウイルス感染症に対応しながら大規模災害に備えなくてはならない中で、今後、町民に対してどのような考え・行動を取っていただきたいのか町長に伺う。
町長 災害においては、各家庭における日常の準備が非常に重要になる。避難する場合に備え、避難場所及び避難経路の確認、在宅避難あるいは車中避難かの検討、警報・注意報などの気象情報を注視し、避難するタイミングや場所について事前に確認していただき、これまでの非常時持出品に加え、マスク・体温計・消毒液・スリッパ等、感染症対策用品も備えていただきたい。

児童・生徒一人一台のパソコン予算成立

GIGAスクール構想に着手



大室台小学校パソコン教室での様子

令和2年7月臨時会で上程された議案は次のとおりです。

議案

【議案第1号】

一般会計を増額補正

今回の補正は、国の令和2年度第2次補正で予算措置された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を財源とする新型コロナウイルス感染症対応経費をはじめ、公立学校情報機器整備補助金事業や、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等支援事業に要する経費、コミュニティプラザ多目的ホール屋根改修工事、馬橋川暗渠部管清掃及び補修工事など、緊急を要する経費等を計上するもの。

※全員賛成で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	94億4398万円
補正額	2億4048万7千円
合計	96億8446万7千円

議案への賛成討論

【議案第1号】

新型コロナウイルス対策が一步前進したので賛成

竹尾 忠雄 議員

特別出産給付金支給事業として、4月28日から来年4月1日に生まれた乳児一人に10万円支給（一千万円）するなど、今回の補正予算には、7月に日本共産党議員団が町に対し行ったコロナ対策関連予算の要望が反映された。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、医療機関や介護保険サービス・障害福祉サービス事業者支援事業590万円、同施設等従事者への慰労金支給事業860万円。その他、社会福祉協議会による緊急小口資金などのつなぎ資金として社会福祉協議会事業補助金100万円を補正されたことは何よりであると思ひ、今回の補正予算に賛成する。

ただ、河川事業費として馬橋川の暗渠部管清掃等の予算が計上されたが、残土事業者により同川の機能が損なわれていることから、私は残土事業者への責任を求めるよう要望する。

【議案第1号】

緊急小口資金のつなぎ資金、馬橋川暗渠部管清掃予算化を評価し賛成

白井 則邦 議員

GIGAスクール構想コンピュータ導入により、ようやく学校の教育でICTを使った教育ができるようになる。活用



オゾン発生装置

についても、しっかりと検討していただきたい。

また、オゾンの発生装置の予算が計上されているが、オゾンは、健康被害の危険があるため、人のいないところでの使用をお願いする。

コロナ禍で、社会福祉協議会の緊急小口資金などの利用が増え、町の1%弱の世帯がすでに利用している。町社会福祉協議会での、緊急小口資金のつなぎ資金が予算化されていることを評価する。そして生活支援をしっかりとお願いしたい。

最後に馬橋川の残土の問題。住民は、早く安全に暮らしたいと思っている。暗渠管掃除の予算を計上したことを賞賛する。

【議案第1号】

馬橋川暗渠管清掃予算
については賛成

齊藤 博 議員

「暗渠管の清掃」の予算については、水害を未然に防止すると共に、私が反対してきた町の提案である「法人からの用地購入」との関連性はないと認められるので賛成する。

予算執行に際しては、原因者負担の原則と町の対応姿勢を明確にして実施すべきである。

従来から、町は「原因者負担」として、その実行を文書で通知し、未実施の場合には「法的手段」を採るとしてきたが、今回、町の負担で行うということは、今後他の原因者も町の通知に対応しないことが予想される。代執行制度の適用等で「原因者負担」の原則を貫徹すること要望する。

【議案第1号】

小中学校の冷風扇・扇風機設置のための予算に
賛成

小早稲美穂 議員

以前よりお願いしていた各小中学校体育館の冷風扇、教室用扇風機が設置されることになった。工業用扇風機は大型だが静かで風量もあり、思っていた以上に良いものが設置される。

また、教室の換気だけでなく窓を開けた生活の中での熱中症対策にもなり、ありがたく感謝する。更に、国庫補助を活用し、給食センターに空調服やスポーツクーラーが配置されることにも感謝する。

次に、昨年度否決された議案、馬橋川関係だが、応急処置ではあるが地域の方々のために、暗渠部の管清掃及び補修工事に感謝する。

私としては、土地を購入し、町が先導をして対策をすることが最善策と考えるため再度検討をお願いし、本補正予算に賛成する。

議会傍聴について

役場中央庁舎耐震補強等改修工事に伴い、当分の間、議場は分庁舎2階第2多目的室に移転しています。

また、新型コロナウイルスの感染予防及び感染拡大防止の観点から本会議場内で傍聴できる人数を7人と制限させていただきます。

傍聴を希望される方は、以下の点へのご協力をお願いいたします。

- ①ご自宅での健康チェック
※発熱、咳・咽頭痛など体調不良のある方は傍聴をご遠慮ください。
- ②マスクまたは口を覆うもの着用
- ③こまめな手洗い・手指消毒
- ④受付での非接触型体温計による検温
※37.5度以上の発熱の際は傍聴できません。
- ⑤傍聴受付票の記載
※感染者が出た場合に備え、電話番号も記入していただきます。

12月定例会のお知らせ

次の定例会は、12月2日に開会する予定です。会期は、11月25日に開催予定の議会運営委員会で決まります。会期が決まりましたら、ホームページやポスターでお知らせします。

詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎(496) 1171
(内線271,272)

編集に当たって

日々、生活が変わっていきませんが、普段より、隣近所、お互いに声掛けをし、災害時には平常心を忘れず、お互いに支えあい笑顔で心豊かに生活をしていきたいと思います。些細なことでも、お気軽にお近くの議員へお声がけください。

委員長	齊藤 博
副委員長	大石 法子
委員	須藤 仲次
委員	酒瀬川 芳子
委員	白井 則邦
委員	小早稲美穂

しすいハート体操 普及サポーターに聞きました

- ① あなたにとって酒々井町はどんなところですか。 ② ハート体操を始めたきっかけはなんですか。
③ 町および町議会にどのようなことを期待していますか。



寺本 恵美さん

- ①水がおいしく、自然がたくさんあり、古くからの歴史のある楽しい町です。
②簡単で楽しそうだったことと、自分の健康づくりも兼ねて始めました。
③さまざまな行政情報をわかりやすく積極的な情報発信や情報提供をお願いします。



日本体育協会スポーツプログラマー
三橋 好子さん

- ①穏やかで住みやすい町、酒々井。アウトレットは別世界の雰囲気です。
②健康づくり体操として、曲に合わせて立位と座位で、だれでもどこでも気軽に体を動かし、笑顔になれるようにと作成しました。
③自立し、ともに助け合い暮らしやすい町であり続けることに期待します。



田北 洋子さん

- ①30年以上住んでいますが、自然が豊かで人が温かい町です。
②広報の募集で知りました。自治会の中で体操をしていましたので、その中に取り入れようと思い始めました。今楽しく元気に活動しています。
③道などの草刈りで、町の人や町を訪れた人が気持ちよく歩くことができる町であるよう期待します。

普及サポーターは現在 50 名。今年はコロナ禍によりまだ活動はありませんが、昨年度は出前健康講座やオレンジカフェ、老人福祉大会、ふるさとまつりなどで活動されました。

コロナ禍により外出機会が減り、活動量の低下による健康への影響が心配されます。活動量を維持して元気に過ごせるように、だれでも手軽にできる親しみやすい運動「しすいハート体操」でからだを動かしてみませんか。

しすいハート体操は
こちらから

